

平成 31 年 4 月 12 日 基地周辺対策特別委員会 議事録
10 時 00 分 開会

○出席委員 (7人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 賀屋 幸治

委員 北地 範久、藤井 馨、山崎 年一、寺岡 公章、田中 実穂

議長 児玉 朋也

副議長 細川 雅子

○欠席委員 (1人)

山本 孝三

○網谷委員長 皆さん、おはようございます。定足数に達しておりますので、これより基地周辺対策特別委員会を開会いたします。

山本委員は、欠席の届けが出ております。

始めさせていただきます。

それでは、議事日程に従いまして進めさせていただきます。

日程 1、阿多田島自治会の意見集約について、これは私のほうから説明させていただきます。この件については前回、阿多田地区自治会の総会でのアンケートの意見集約をされ、要望書として議会なり、また執行部に提供されるものと思っておりましたが、なかなかそういう行動が阿多田地区自治会のほうから見られませんので、個人的にも何度か打診したところでございますが、それを打診しながら私が推測する中でアンケートの要望などをこの間、皆さんにお配りしたと思っておりますが、見ていただきましたとおり、平成29年10月に阿多田地区のまちづくり座談会で執行部が座談会をやった内容と余り変わったところがございますので、そういう関係でこのたび我々委員会としては、要望書なり陳情書なり出されるのかなという心構えでおったところでございますが、先ほど申しましたとおり、なかなか態度が表明されませんので、副委員長といろいろ協議しまして、アンケート自体の内容を見ましても一昨年まちづくり座談会の執行部との会合と余り変わってないということで、それと振興策についての大きな事案といいますか事業の要望もされておられませんということで、またフェリーの問題はこれも私の推測ではございますが、別個の案件として阿多田地区自治会としては考えられてるんじゃないかと推測しております。皆さん御承知と思えますけど、フェリーの問題はおおむねスケジュール的にも発表されておりますので、阿多田島の方もその辺のところはもう安心されているのではないかと副委員長とは推察ではございますが協議しまして、これをずっと待っておってもそれと同時に我々が催促するのも何かおかしげなものでございまして、協議しました結果、これはこれとして現在の基地周辺対策特別委員会には間に合わないかもわかりませんが、またいろいろな課題に阿多田地域の方が直面した場合に要望書なり陳情書なり、また請願なりを提出するのではないかとこのところを予測をしまして、また、議員そのものが改選でございまして、次の特

別委員会がどうなるかもわかりませんが、ただ個人的な意見では、基地周辺対策特別委員会、名称は変わるといたしましてもこれに変わる委員会は何らかの形で立ち上げていただくのではないかと予測のもとで、この問題も引き続き次の委員会に委ねるということで副委員長とそのような結論に達したわけでございまして、そういう意味からいいますと今回の基地周辺対策特別委員会の中ではもう来月、再来月には6月定例会も始まりますので、まとめの段階に入らねばいけないのではないかとという時間的な制約もございます。この件に関しましては引き続き次期特別委員会が発足されましたらそれに委ねるということで副委員長との協議をさせていただきました。それに対して何かございましたら意見お願い申し上げます。

その前に副委員長何か補足があれば。

副委員長。

○賀屋副委員長 今、委員長のほうからも報告がありましたように、アンケートの集約はされたんですが、この集約をもとに阿多田地区自治会として、どういう取り組みをしていくかということの結論が出てないと。形としては例えば要望書であるとか陳情書であるとかで議会に対しての働きかけが正式な形としてあればそれを受けて動くということにしておったんですけども、そこまでいかないということになりました。

またアンケートの集約の中でフェリーの運賃の助成等に関する要望というのが一番多いんですけども、この運賃の助成等というのはまさしく島民の皆様の生活に一番かわる問題であって、これを改めて自治会のほうでどういう形でそのことに対しての要望が出てくるのかということのこちらからどうかというのいかがなもんかということもありまして、それを待つということしかないのかなと。当然この運賃の助成等に関する要望については執行部のほうにもその都度お願いをしるという話でもありますし、その辺を並行して具体的に本当に動きがあるかどうかを見きわめて、必要であればまたそれに向けての取り組みをしていくということで、こちらから逆に、まだ自治会のほうで正式に要望書という形にならない中で、どうかと言うてこれ以上いきにくいということでの判断でございます。

それとフェリーの建造については、先ほどもありましたように、もうレールに乗って国のほうへ、あるいは県のほうに要望していくということで進んでおりますので、これを改めて取り上げるということはもう必要ないと考えています。

ということで、日程1の自治会からの意見集約については、今回は正式な阿多田地区自治会としての意向が示されないということの中で、これ以上こちらからの取り組みを積極的にするというのは控えようかなという結論になったということで御理解いただきたいと思えます。

○網谷委員長 はい、ありがとうございます。今、私の意見と副委員長の意見を踏まえまして、委員の皆様方に意見がありましたらお願い申し上げます。

北地委員。

○北地委員 2点ほど確認させてもらいたんですけども、先ほどフェリーの件、これは阿多田島に行ったときには要望書を出すとかいう話があったんですけども、その辺の確認は

されたんでしょうか。

それともう1点、この意見集約を待つしかないという状況を正・副委員長のほうで判断されたということなんですけども、そのことは地元のほうにはお伝えされているのかどうか、この2点お願いします。

○網谷委員長 フェリーの確認といったことでありますが、この確認はもう前回の委員会で私が申し上げたと思いますが、平成30年10月ごろですが阿多田島漁協組合長のほうからもう要望書として出しているということで、それから何回も私、委員会としての確認というよりか、これ混同してはいけないのはわかっとなんですが、何回も阿多田島の方と出会うことがございまして、もう時間的にも余裕がないので皆さん御承知のとおり、ことしは議員の改選の年でもありますし、ということは申し上げ、先ほども申しましたとおり何回もどうなのか、どうなのかという催促みたいなことをいう中での確認をさせていただいております。

それから、このことについての打ち切るという確認ですか、打ち切るという確認はこれでもうやめますよというようなはっきりした確認はしておりません。というのも先ほど申したように、そのような口調ではっきりしたらよかったのかもわかりませんが、そういう言葉を申しますと、なかなか阿多田島という地域的なところもございまして、何といたしましても大竹市の中でも一番被害をこうむっているところもございまして、この問題をもう打ち切るというようなことは私自身も言えませんが、先ほど申し上げた次期特別委員会の名称がどうなるかわからない、次期特別委員会に委ねるということ、引き継ぐということもそういう意味のことは申したと思いますが、はっきりこれで終わりますとかいう言葉は申しておりません。

はい、北地委員。

○北地委員 ありがとうございます。それでフェリーのほうは平成30年10月に要望書が出ているということですのでよろしいんですね。阿多田島のほうの考えがもう一回出すということはないわけですね。

○網谷委員長 それ以上は一切。

○北地委員 要望書、出されると言いよったもんで。それはないんですか。

○網谷委員長 それは前回私も申したと思いますが、その前々回の委員会だったか、出るとか出てないかというこの委員会の中で先議がございまして、そのときに私が確認しまして前委員会で平成30年10月に出したということは確認しておりますので。

○北地委員 はい、ありがとうございます。それじゃ平成30年10月に出されたということで。それともう終わるということではなしに、阿多田地区自治会のほうから出てくるのを待つ状況に委員会としてはしますよというようなことは確認されとる。

○網谷委員長 はい、もちろん。

○北地委員 ありがとうございます。

○網谷委員長 ほかに。ないようですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 それでは、ないということで一応今、私と副委員長が申したようなことにな

りますので、阿多田地区からの要望・陳情に関しましては引き続き次期特別委員会がどうなるかわかりませんが、引き続き委ねるということで一応今回の委員会はそういうことにさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、日程1のほうは、以上で終わらせていただきます。

それでは、日程2のほうの中間報告書の作成についてでございますが、今、私と副委員長の考えでは今回の委員会、また来月の委員会でまとめまして6月定例会に報告させていただく。大まかではございますが、そういう予定を組んでいるところでございますが、何かそれに対して意見がございましたら。

山崎委員。

○山崎委員 中間報告書の作成ということのようではありますが、中間報告書ということは最終的には報告書をまだ出すということなんでしょうか。この6月定例会が私たちの任期の最後の定例会ですよね。そういった意味じゃ任期8月末まであるんですけども、この中間報告書という形じゃなくて、最終的なまとめとして6月定例会に出して、一応、今回の基地周辺対策特別委員会の委員会の役割が終わると。次回の新しい議会編成がどうなるかは別としまして、そういう形での任期の区切りをつけたほうがいいんじゃない。先ほどから話聞いてますと、基地周辺対策特別委員会じゃなくて網谷委員会みたいな形で、委員長の思いじゃ、推測じゃ、こういうようなことで議会が進むというのは、わしは非常にまずいと思うんですよ。やっぱり基地周辺対策特別委員会としてはこうなんだと、こういう申し入れをしたと、こういう返事があったということの中で議会としての行動としていかんと網谷委員長の独断の委員会で進んでいくというような格好で印象として受けるわけね。そういった意味も含めて今回この中間報告じゃなくて基地周辺対策特別委員会の最終報告としてまとめて次に今回のいろんな問題を引き継いでもらうという期待を込めたまとめにされたらどうかと私は思いますが、どうでしょうか。

○網谷委員長 はい、ありがとうございます。今までの発言、本当に私自身肝に銘じておきますので、どうも失礼しました。今の山崎委員の一旦この基地周辺対策特別委員会は6月定例会が最後ということなんで、これを最終報告にするのか、次の委員会、次というてましても委員が変わるわけでございますので、そういう意味で中間報告にするのか、私も今、山崎委員が言われたことに思うこともあるのはあったんですが、なかなか先ほども申しましたとおり、大変阿多田地区が厳しい環境の中に現在あるということは確かでございますので、これは委員の皆さんも認識されることだろうと思いますので、これは私の推測のと言ってはいけないのですが、そういう意味でまた次期特別委員会も私は設置されるんじゃないかという意味を込めまして中間という方向にさせていただきましたんですが、今、山崎委員が言われたように一旦終わるんだからこれを最終報告でいいんじゃないかというふうに思われれば、それはそれなりのまた方向性を持っていかねばなりませんので、その辺のところは、ほかの委員の皆様方の意見もいただければと思いますが、どうでしょうか。

寺岡委員。

○寺岡委員 今、報告のあり方について御意見をいただいたと思うんですけども、考え方としては一つありなのかなと思います。議会事務局のほうに聞くのは酷かもしれないんです

が、どうですか、中間報告なのか最終報告なのか、この辺の捉え方、いかがですかね。

○網谷委員長 局長。

○田中議会事務局長 申しおくれました。4月1日付で事務局長を拝命しております田中でございます。よろしくお願いします。

中間なのか、最終なのかというところでございますけれども、委員会自体また改選後に構成が変わるということで、これは法的にどうこうとかいうんでなく、私の私見にはなりますけれども、最終とか中間をつけずに活動報告ということで、平成29年にも一旦6月定例会で報告されておりますけれども、以降の活動であるとか平成30年9月定例会には要望書も出されておるといふ実績もございますので、そういった部分まとめられた報告をされるのがいいんではないかと考えております。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

寺岡委員。

○寺岡委員 あと報告するのが本会議ですので、それを報告を受ける側の議長として何かお考えがあれば、もしあればお聞かせいただいておりますんですけど、なければ今の事務局の話に沿うかなとも思うんですけどね。

○網谷委員長 議長。

○児玉議長 先ほど山崎委員がおっしゃったことも、本来この8月末で委員が全てかわるといふことでわかるんですけど、網谷委員長に任じていますから、網谷委員長の思うようにまずはしていただいてもそれは構いません。委員長になっていただいたんですから、網谷委員長には堂々と自分の思うとおりを筋を通していただけたらと思います。

○網谷委員長 はい、ありがとうございます。筋を通していただくという、ありがたい言葉ではあるんですが、何といたしましても委員の方が8名おられますので、私の一存でというわけにもいきませんので、ほかに今、局長の意見もございましたが、ほかに何かありましたら。

副委員長。

○賀屋委員 確かに中間ということになると最終はいつ出すかというそういう問いにも答えていかんやいけませんけども、この8月で改選になるということも当然ありますし、前回は活動報告ということで中間はなかったということですよ。ということであれば同じような形で活動報告ということでもいいんではないかなと思います。また改めて9月に、改選後この特別委員会が設置されるのかどうなのか、わかりませんし、新しい体制の中で、またそこは新しい議会の中で取り決めをしていただければと思いますし、それに向けて中間というのをつけるとどうしても次もやらないいけないという義務的な形になっても負担が大きいかわかりませんので、一旦けじめとして報告はしないといけないので、活動報告という今までの形を踏襲するんでいいんではないかなと思います。

○網谷委員長 はい、ありがとうございます。今、副委員長のほうから活動報告という意見が出ましたが、ほかにいいですか。

活動報告ですか、これが一番聞いてみれば無難ないうたらおかしいんですが、局長もそ

ういって言われたこともございますので、そうさせてもろていいですかね、それでは、活動報告にさせていただきます。

それでこの報告書の次に、今、活動報告ということに決めていただきましたんですが、この活動報告書ですよね。これを誰かつくっていただければ一番いいんですが。

〔発言する者あり〕

○網谷委員長 それじゃ私でよろしいでしょうか。それじゃ私、委員長が作成いたします。寺岡委員。

○寺岡委員 ですから、これまでの2年間の活動をまとめたものを案としてつくっていただいて、ここでまた諮っていただくと考えておいてよろしいですかね。

○網谷委員長 もちろん、それを次の委員会だと考えておりますので。その辺のところをお含みの上、皆さんの意見も一応用意しとってください。それまでに私が作成させていただきます。ということでよろしいでしょうか。

それでは日程2のほうはそういうふうな方向でさせていただきます。よろしくお願ひします。

それでは、続いて、日程3のその他について何かあればこの機会ですので発言していただければと思いますが。ないですか。特にないようですので、ありますか何か。

○北地委員 次回は、どうしますか。

○網谷委員長 次回は。議長どんなですか。

○児玉議長 来月ね。

○網谷委員長 来月。

○児玉議長 また連絡ください。

○網谷委員長 また改めて、来月の日程は、また改めて皆さんにお知らせいたしますので、その辺のところはよろしくお願ひします。

それでは、日程3その他についてもないということでよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 なしということで、以上で本日の議事日程は、全て終了しましたので、基地周辺対策特別委員会を終わらせていただきます。御苦労さまでした。ありがとうございました。

10時24分 閉会